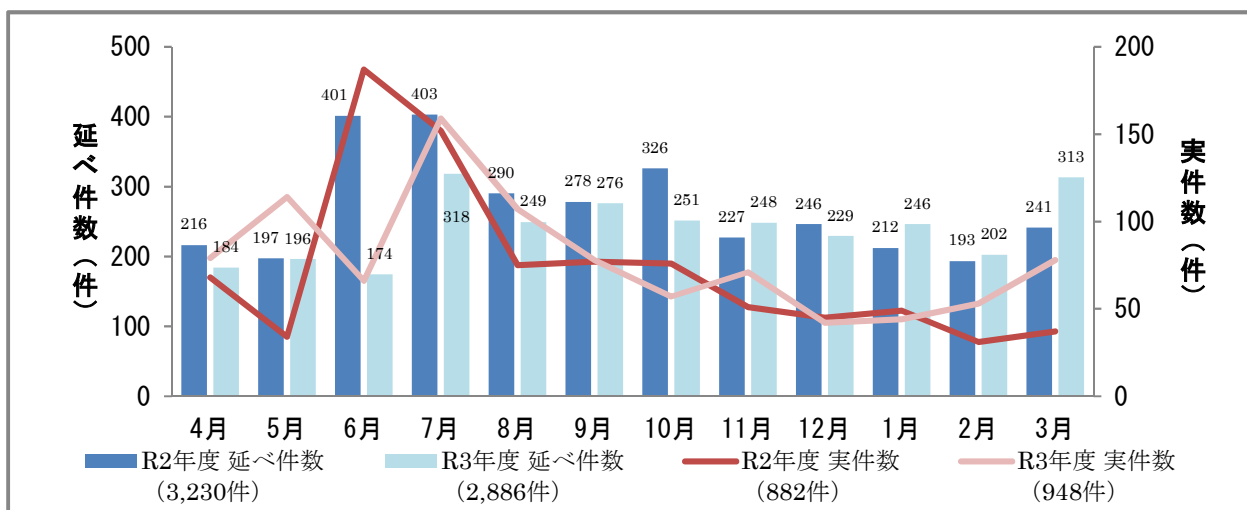
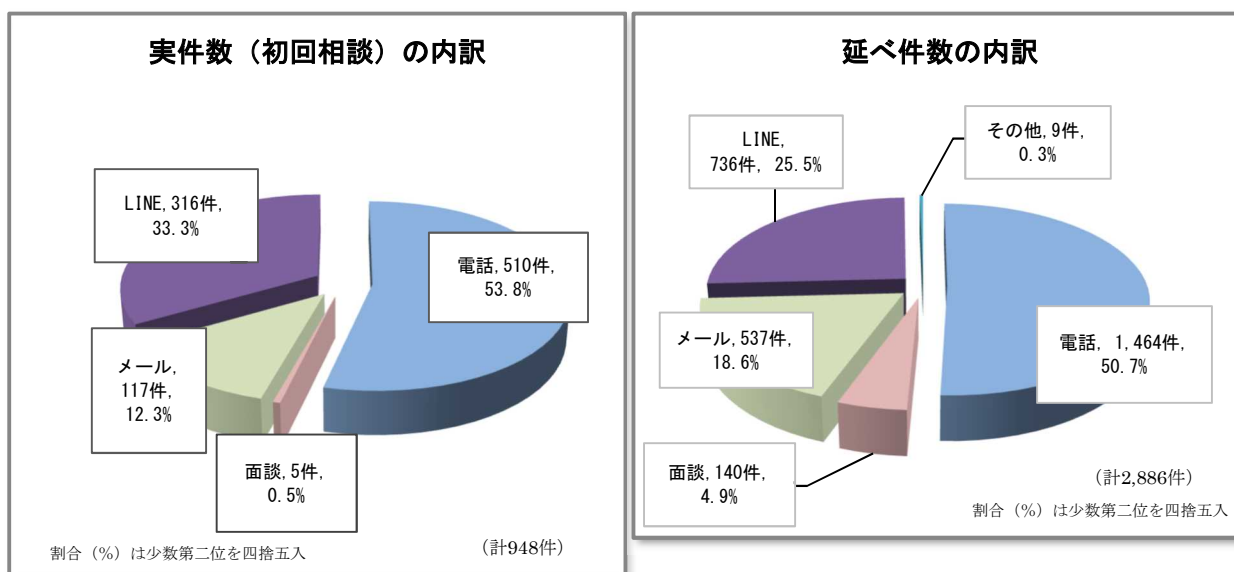


1 月別相談受付状況



令和3年度は、小学生には例年どおり4月に、中学生及び高校生にはLINE相談を再開した7月に、子ども用相談カードを配布しました。広報物の配布直後に、相談件数が増加する傾向があります。

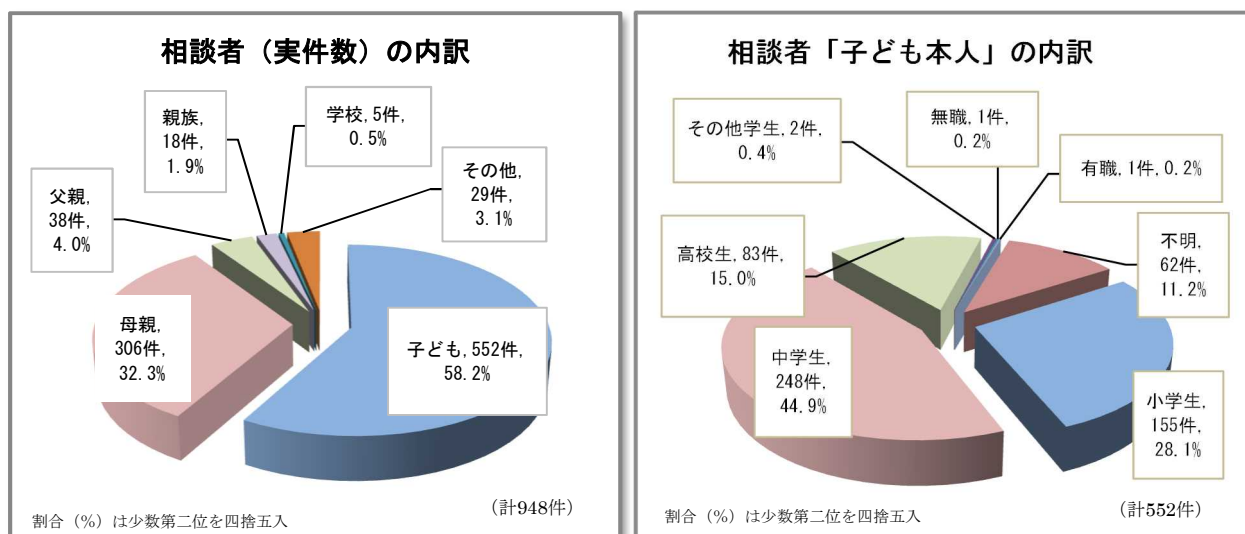
2 相談方法の内訳



実件数 (初回相談) は、電話による相談が最も多く、次いでLINEによる相談が多くなっています。また、電話は複数回の相談になることが多いため、延べ件数でも全体の51%を占めています。

また、メールによる相談は、やり取りに回数を要することが多いため、実件数 (初回相談) では12%ですが、延べ件数では19%となります。

3 相談者、相談者「子ども本人」の内訳



相談者とは、相談してきた人のことをいいます。子ども本人からの相談が多く、全体の58%です。次に多いのが母親で、本人と母親を合わせると全体の91%を占めています。

また、子ども本人の相談の内訳では、前年度同様、中学生からの相談が最も多くなっており、子ども本人の相談者全体の45%を占めています。

延べ件数における相談者と相談方法の集計は、下表のとおりです。

子ども本人からの相談は、令和2年度より通年実施したLINEによる相談の割合が多く、LINEは子どもにとって気軽に相談できる方法であることがうかがえます。

相談者と相談方法（延べ相談者数）

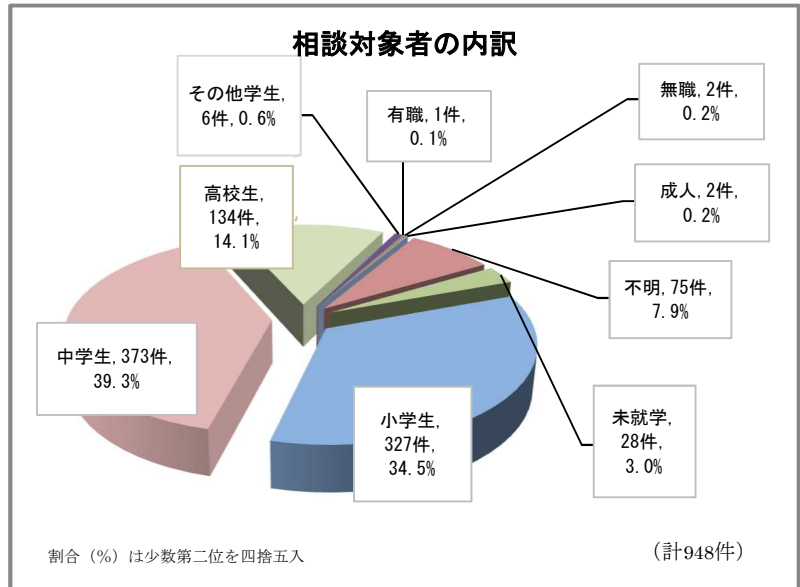
区分	子ども本人	父親	母親	親族	学校	その他	合計
電話	356	56	777	37	95	143	1,464
	12.3%	1.9%	26.9%	1.3%	3.3%	5.0%	50.7%
面談	85	0	31	1	12	11	140
	2.9%	0.0%	1.1%	0.0%	0.4%	0.4%	4.9%
Eメール	339	11	118	3	8	58	537
	11.7%	0.4%	4.1%	0.1%	0.3%	2.0%	18.6%
LINE	724	1	5	2	2	2	736
	25.1%	0.0%	0.2%	0.1%	0.1%	0.1%	25.5%
その他	0	0	4	0	0	5	9
	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.2%	0.3%
合計	1,504	68	935	43	117	219	2,886
	52.1%	2.4%	32.4%	1.5%	4.1%	7.6%	100.0%

※相談者が複数の場合があるため、相談者数の合計は相談件数と一致しない。

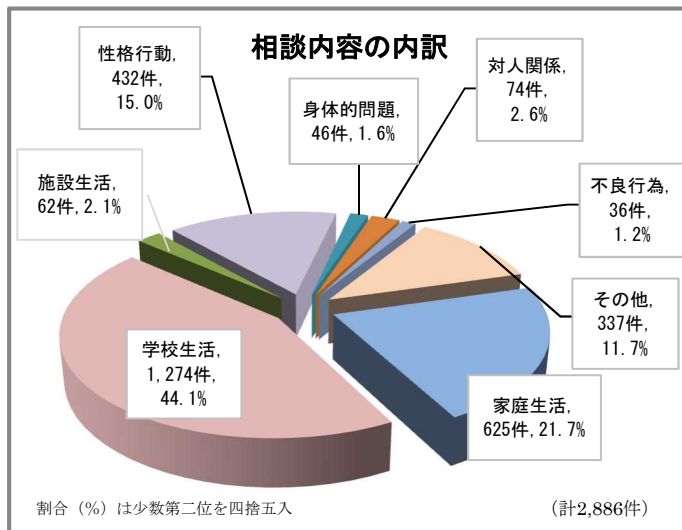
※割合は小数第二位を四捨五入

4 相談対象者⁽⁵⁾の内訳

相談の対象となった子どもの内訳は、小学生が35%、中学生が39%、高校生が14%となります。



5 相談内容の内訳



子どもアシストセンターでは、相談内容を「家庭生活」、「学校生活」など8項目に分けています。

延べ件数全体で相談内容の内訳をみると、「学校生活」に関する相談が一番多く、次に「家庭生活」、「性格行動」の順に続きますが、これは例年と同様の傾向です。

さらに相談内容を33の細目に分けると、上位5項目は、下記のとおりです。

子ども (1,504 件)		大人 (1,382 件)	
① 友人関係	253 件 (16.8%)	① 子どもと教師の関係	169 件 (12.2%)
② 精神不安	197 件 (13.1%)	② 不登校	142 件 (10.3%)
③ 親子・兄弟関係	186 件 (12.4%)	③ 親子・兄弟関係	104 件 (7.5%)
④ 子どもと教師の関係	96 件 (6.4%)	④ 養育・しつけ	98 件 (7.1%)
⑤ 学習・進路	65 件 (4.3%)	⑤ 学習・進路	64 件 (4.6%)

(5) 相談対象者

相談の対象となっている子どもを指します。母親から小学生に関する相談があった場合には、「相談者」は母親となり、「相談対象者」は小学生となります。中学生の子ども本人が自分のことについて相談してきた場合には、「相談者」は子どもとなり、「相談対象者」は中学生となります。